

ARIBの動き

第151回業務委員会を開催

第151回業務委員会を開催したので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成21年5月13日(水) 午後2時から3時30分まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

次の事項について事務局から報告、説明等がありました。

- (1) 2009年ARIB / ATSC定期会合
- (2) 第9回日中韓情報通信標準化会合(CJK)
- (3) APT無線フォーラム第6回会合 (AWF-6)
- (4) 第14回GSC／第7回GRSC会合
- (5) 高度無線通信研究委員会の体制見直し
- (6) PHS MoUグループの組織名称変更
- (7) 「経済危機対策」における総務省関連施策の概要
- (8) 当会の活動状況

第14回GSC／第7回GRSC会合について

第14回GSC (Global Standards Collaboration)会合及び第7回GRSC (Global Radio-Standards Collaboration)会合が下記のとおり開催されます。

GSCは、ITU等の国際標準化活動の一層の活性化を図ることを目的として、主要国の電気通信・無線通信に関わる標準化団体（日(ARIB、TTC)、中、韓、欧、米、加）が相互に連携を深め、技術動向・標準化動向等の情報交換を行う非公式の会合です。GSC会合は、会期の最初と最後に有線無線共通の課題について議論するplenaryが開催され、中間はそれぞれの専門課題について、ITU-R関連の部会であるGRSCとITU-T関連のGTSC (Global Telecommunication Standards Collaboration) が並行して進められます。GRSCとGTSCは元来別々の会合でしたが、2003年にGSCとして統合され、今日に至っています。

開催日：2009年7月13日（月）～7月16日（木）

開催地：ジュネーブ

電気通信・放送行政の動き

情報通信分野における協力に関する韓国放送通信委員会との覚書の署名

（平成21年5月11日総務省報道発表）

5月11日、鳩山総務大臣は、総務省を訪問した韓国放送通信委員会の崔時仲（チェ・シジュン）委員長（閣僚級）との間で会談を行い、情報通信分野（放送及び電気通信）における日本と韓国との包括的な協力関係を推進していくことで合意し、覚書に署名いたしました。

なお、覚書の骨子は、以下の通りです。

【協力対象領域】

- (1) 放送及び電気通信の融合・連携サービス
- (2) 移動体通信サービス
- (3) 地上波デジタル放送サービスへの移行
- (4) インターネット利用のための健全で安全な環境の確立
- (5) 技術開発と標準化等

【協力の形態】

- (1) 放送及び電気通信に関する政策及び技術の分野における協力
- (2) 専門家等の交流及び相互訪問
- (3) 放送及び電気通信に関する研究開発機関間の交流及び共同の研究計画等

詳細は、< http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin06_000016.html >を
ご参照ください。

「Ku帯VSATシステムの高度化に関する技術的条件（案）」 に対する意見募集

（衛星通信システム委員会の報告案に対する意見募集）

（平成21年4月30日総務省報道発表）

情報通信審議会情報通信技術分科会衛星通信システム委員会（主査：服部 武上智大学理工学部電気・電子工学科 教授）は、平成20年12月より、Ku帯VSATシステムの高度化に関する技術的条件について審議を行って参

りました。

このたび、委員会報告案をとりまとめましたので、本報告案に対し、平成21年5月1日（金）から同年6月3日（水）までの間、意見を募集することとします。

1 概要

情報通信審議会情報通信技術分科会衛星通信システム委員会では、平成20年12月より、Ku帯VSATシステムの高度化に関する技術的条件について検討を行って参りました。

本件意見募集は、これまでの検討内容についてまとめられた委員会報告案について意見を募集するものです。

2 意見募集の対象及び意見公募要領

意見募集対象：「Ku帯VSATシステムの高度化に関する技術的条件（案）」

意見公募の詳細については、下記のURLをご覧ください。

3 今後の予定

意見募集の結果を踏まえ、6月に報告をとりまとめる予定です。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/12295.html>をご参照ください。

「ユビキタス特区」の第三次決定に係る提案の公募

（平成21年4月30日総務省報道発表）

総務省では、我が国ICT産業の国際競争力強化等のため「ユビキタス特区」事業を推進することとしていますが、第三次決定したプロジェクトについて、提案を以下のとおり公募しますのでお知らせいたします。

1 公募を行うプロジェクト及び実施予定額

3月11日に第三次決定した予算支援を予定している2件のプロジェクトについて、提案の公募を行います。

各プロジェクトの実施地域、実施内容、実施予定額及び基本計画書については、下記のURLをご参照ください。なお、採択件数は、原則として1プロジェクト当たり1件となります。

2 提案書の提出

(1) 提出期間

平成21年4月30日（木）～5月22日（金）17時（必着）

(2) 応募方法

提案書作成要領（ワードファイル）に従って提案書（ワードファイル）（別添様式のビジネスモデル計画書（パワーポイントファイル）を含む。）を作成し、日本語にてご記入の上、提案書2部（正本・副本）及び電子媒体を、

(3) の担当課あてに郵送（宅配便、バイク便等も可能です。）してください。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu02_000003.html>
をご参照ください。

ご案内

ICT産業の国際競争力強化を目指した標準化戦略シンポジウム ～ 逆境の経済状況下における事業戦略 ～

- 1 日時
平成21年5月27日（水） 14：00－16：30（予定）
- 2 場所
虎ノ門パストラル ホテル 新館5階 オーク
- 3 主催等
主催：ICT標準化・知財センター
後援：総務省（予定）
- 4 プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 来賓挨拶
総務省
 - (3) 主催者挨拶
ICT標準化・知財センター長 井上 友二
 - (4) 講演
（仮）「市場を制する標準化戦略」
東京大学 知的資産経営・総括寄附講座 特任教授 小川 紘一
 - (5) 講演
（仮）「国際標準化人材育成の重要性」
早稲田大学 国際情報通信研究センター 客員教授 松平 恒和
 - (6) パネル討論
（仮）「逆境の経済状況下における標準化活動への取り組み」
事業戦略の一環としての標準化活動の在り方について、ご討論いただきます。
コーディネータ：安田 浩 東京電機大学 教授
- 5 参加方法
 - (1) 参加費 無料
 - (2) 参加申込み方法

事前の参加登録をお願いいたします。

お名前とご所属、お役職を適宜の形式にて次のアドレスまでお送り下さい。

isipc-symposium-2009 (at mark) isipc.org

なお、定員（100名）になり次第締め切らせていただきます。

6 その他 シンポジウムに関するお問い合わせ先

ICT標準化・知財センター事務局 青柳 慎一

TEL：（03）5776－5082

FAX：（03）3432－1553

E-mail：aoyagi (at mark) isipc.org 【(at mark) を@に変更して、送付下さい】

詳細は、<<http://www.isipc.org/news/sympo20090527/index.html>>をご参照ください。

編集後記

今年のGWは高速道路のETC利用で1000円になることで、出かけた人々のなんと多かったことか。長い渋滞は64Km続いた所もあり、予想以上の混雑ぶりでした。という我が家も東京湾アクアラインを使い、海ほたる、千葉に向け5月3日の7時半に出かけました。東京方面、横浜方面、それに川崎方面からの合流点の川崎浮島の手前でストップしてしまい、行くのを諦め引き返した次第です。この時期、この値段を考えることは皆同じでした。次回の連休はこれに懲りた人々に期待して、すいすい走れるようになっていければいいなと願っています。

(HK)

[ページの先頭に戻る ▲](#)